

# 浜松市民活動フォーラム開催事業

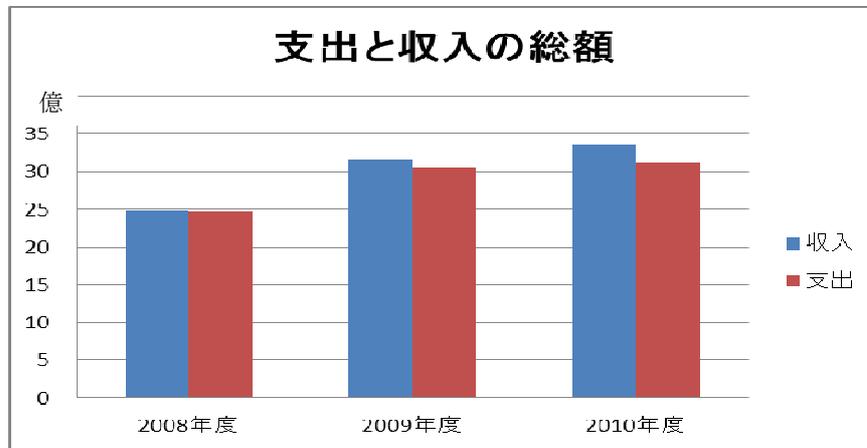
## — 市内のNPO法人に関する活動状況報告 —

### 6. 経済状況

NPO法人の活動が、ポケットマネーで活動が続けるボランティア団体の延長にあるようなイメージをもたれることが多く、どうやって活動をしているのか質問されるため、今回の調査では、何が収入となって、どのくらいの規模か、また経済的な安定性はどうかの他にも、雇用されたスタッフの人数や事務所の家賃などについても聞き取った。

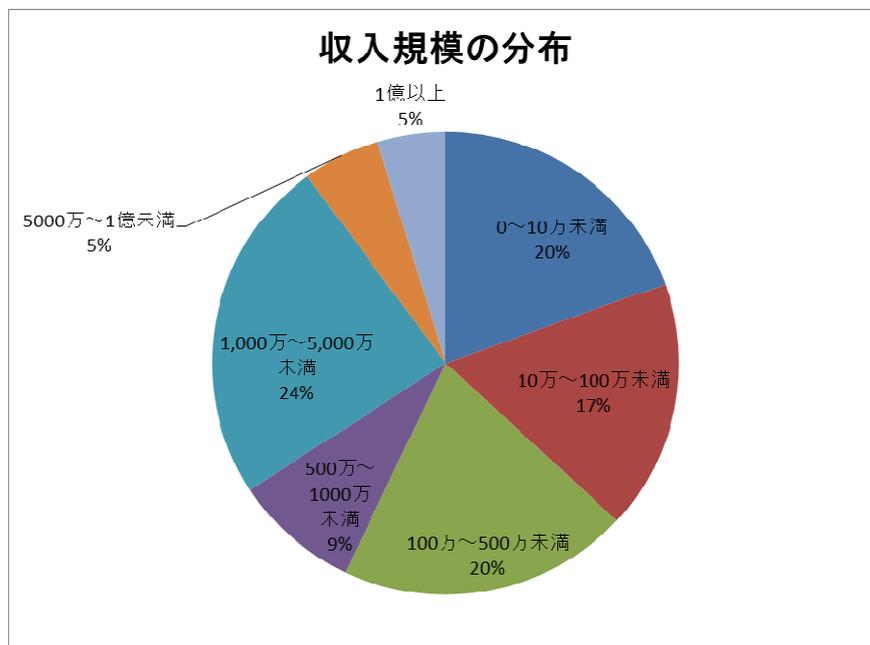
#### 6-1. 収支の規模

経済効果ということで考えると、市内にあるNPO法人は年間30億円を超えるお金を動かしており、年々その規模は大きくなっている。(データ数：2008年度・128、2009年度・130、2010年度・134)



#### 6-2. 収入規模の分布

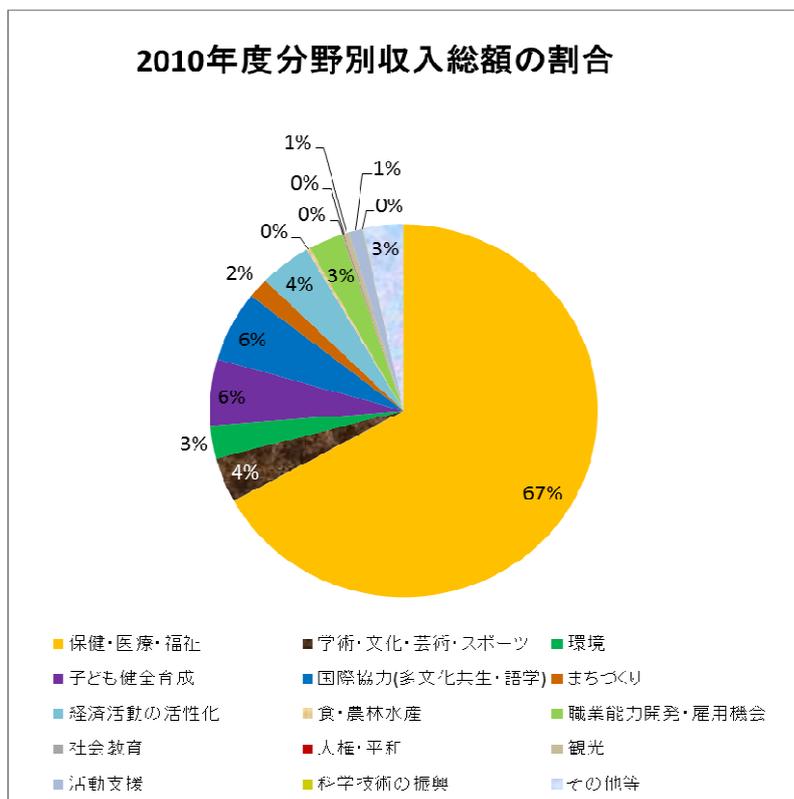
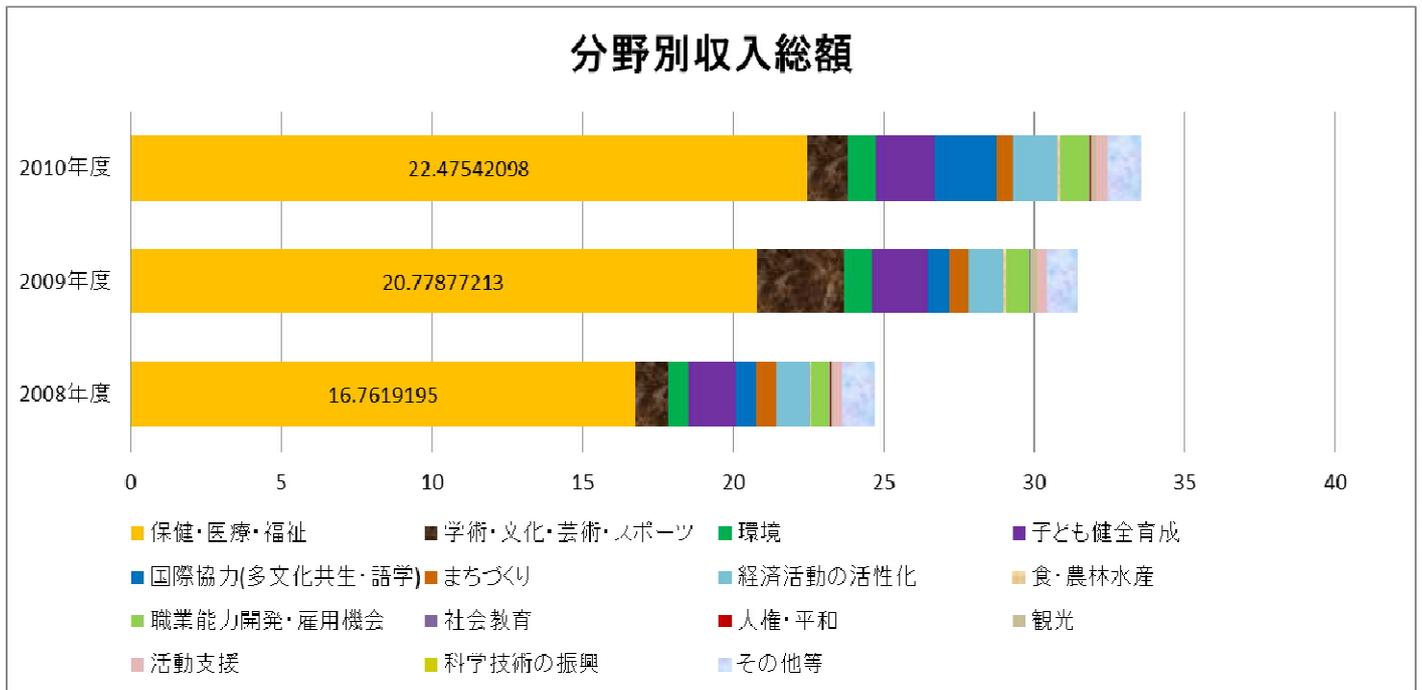
2010年度でみると、収入合計の50%をわずか5%の法人が占めており、37%の法人が100万円未満の収入規模となっている。(データ数134)



### 6-3. 分野別の収入総額

行った活動に対してそのための費用が払われるものかどうかは、その活動対象や内容によって全く違うため、分野別でみてみた。保健・医療・福祉分野では、2010年度のデータでみると全体の67%の収入額を占め、3年間で約16.8億から5.7億の増加になっている。他に、国際協力分野の収入増加も目立つ。

尚、「その他等」の分野には、団体数が少ない「情報化社会の発展」「災害救援」「男女共同参画」「消費者保護」「その他」を含めた。(データ数：2008年度・128、2009年度・130、2010年度・134)



#### 6-4. 分野別の収支差額

2010年度における分野別の収支差額を調べたところ、10万円以内の収支差額であったNPO法人が最多であったが、収支差額0円と報告している団体が12あった。1億以上の黒字については、遺贈をうけた認定NPO法人の数字である。(データ数134)

